



熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町1237-1

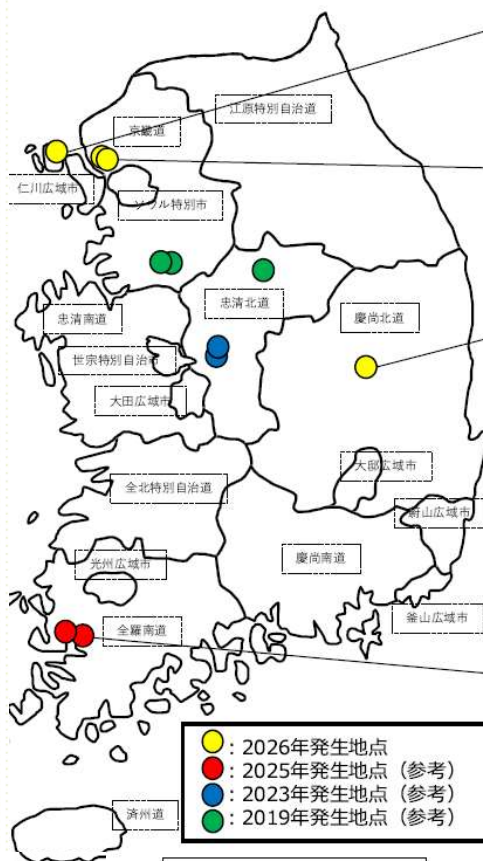
TEL : 0966-22-3814

E-mail : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp



韓国で口蹄疫が発生

- 9月2日、韓国慶尚北道醴泉郡の牛農場2件で口蹄疫の発生が確認されました。飼養頭数は計132頭。
- なお、同地区においては、7月3日に約4か月ぶりとなる口蹄疫の発生が豚1件、牛5件で確認されていました。
- 消毒を徹底するとともに、発熱や流涎等の口蹄疫が疑われる症状が認められた場合は、速やかに家畜保健衛生所に連絡するようお願いします。



仁川広域市 (1件)

2026年1月30日

江華郡 牛: 1件 (O型)

京畿道 (2件)

2026年2月20日

高陽市 牛: 1件 (O型)

2026年2月28日

高陽市 牛: 1件 (O型)

慶尚北道 (8件)

2026年7月3日

醴泉郡 豚: 1件 (O型)

牛: 5件 (O型)

2026年9月2日※

醴泉郡 牛: 2件 (血清型確認中)

全羅南道 (19件)

2025年3月13日 (確定日: 14日)

霊岩郡 牛: 1件 (O型)

2025年3月14日 (確定日: 15日)

霊岩郡 牛: 3件 (O型)

2025年3月15日 (確定日: 16日)

務安郡 牛: 1件 (O型)

2025年3月17日

霊岩郡 牛: 3件 (O型)

2025年3月18日

霊岩郡 牛: 2件 (O型)

2025年3月19日

霊岩郡 牛: 2件 (O型)

2025年3月20日

霊岩郡 牛: 1件 (O型)

2025年3月23日

霊岩郡 牛: 1件 (O型)

2025年4月10日

務安郡 豚: 2件 (O型)

2025年4月12日

務安郡 豚: 2件 (O型)

2025年4月13日

務安郡 豚: 1件 (O型)

出典 : 韓国農林畜産食品部、WOAH

注 : 日付はWOAH報告の発生日又は韓国当局発表の発生日 (検体採取日) (※)

頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数

2026年9月4日時点

農林水産省動物衛生課

動物検疫所で摘発された畜産物から、口蹄疫ウイルスを分離

- 本年1月、中国から新千歳空港に到着した**旅客の荷物内**から発見されたヤギ肉について動物検疫所が精密検査を行ったところ、**感染性のある口蹄疫ウイルス**が分離されました。本件は、4月に公表していましたが、今月の農水省主催の防疫対策会議で話題になったことを受け、現在報道されているところです。
- 水際での防疫措置を徹底するため、動物検疫所では今年度も人員を増員し、入国者の携帯品についての質問・検査、発見された違反畜産物の廃棄、輸入検査にかかる違反についての罰則適用などに対応しています。
- **発生地域への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国からの**郵便物等は衛生管理区域内に持ち込まない**ようにお願いいたします。



異状を発見した際は速やかに家畜保健衛生所に通報してください！





ランピースキン病が済州島にて発生しました

韓国では、本年7月に約1年7か月ぶりに発生して以降、全北特別自治道、全羅南道、忠清南道での発生が続いているところですが、9月8日には済州島内で初めてとなるランピースキン病の発生が韓牛飼養農場2戸で確認されました。

韓国におけるランピースキン病の発生状況

(2026年9月11日時点)

忠清南道

最新発生日：2026年8月7日
発生件数：1件
感染頭数：7頭

※ 2026年における初発日：8月7日

全北特別自治道

最新発生日：2026年8月26日
発生件数：3件
感染頭数：13頭

※ 2026年における初発日：7月10日

全羅南道

最新発生日：2026年9月7日
発生件数：11件
感染頭数：50頭

※ 2026年における初発日：7月30日



発生状況

	発生件数	殺処分 対象頭数
2023年	107件	6,455頭
2024年	24件	304頭
2025年	-	-
2026年	17件	-

済州特別自治道

最新発生日：2026年9月8日
発生件数：2件
感染頭数：(確認中)

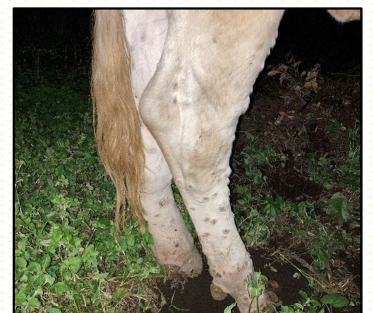
※ 2026年における初発日：9月8日

農林水産省動物衛生課

出典: WOA-H-WAHIS, KAHIS (Korea Animal Health Integrated System)、韓国当局公表資料等を基に作成

黄色：2026年に発生が確認された行政区画
オレンジ：2024年に発生が確認された行政区画
ピンク：2023年に発生が確認された行政区画

- ランピースキン病は全身の皮膚の結節や水腫を特徴とする牛、水牛の疾病です。
- 令和6年(2024年)11月に福岡県において国内初の発生が確認され、その後、福岡県の発生農場から導入した牛に起因して、熊本県の菊池地域の3農場において発生しました。
- 発生当時は家畜伝染病予防法上の届出伝染病であり、自主とう汰や移動の自粛が求められていましたが、法改正により家畜伝染病に格上げされ、殺処分、移動制限等が義務付けられました。これに伴い、ランピースキン病防疫対策要領も改正されました。
- 本病は、サシバエ、ヌカカ等の吸血昆虫(ベクター)による感染が主であり、平時から、昆虫成長制御剤(IGR剤)や殺虫剤散布等による吸血昆虫対策が重要です。



異状を発見した際は速やかに家畜保健衛生所に通報してください！

